



館長のおすすめ本  
筑後市立図書館  
一ノ瀬留美

### 今月の一冊

のこす言葉  
中川李枝子  
本と子どもが教えてくれたこと  
中川李枝子 著



平凡社 本体1200円

「いやいやえん」「ぐりとぐら」で著名な児童文学作家の中川さんが人生を振り返り、心に残った本との出会いや言葉を紹介されています。

また、石井桃子さんとの出会いや著書の生まれるきっかけなどを詳しく書かれています。

絵本が大好きな人に、これから子育てされる人にぜひ読んでいただきたい一冊です。



八女市本村  
溝尻 宮子

退職後、友人に誘われ気軽な気持ちで入会して、10余年になります。いちからの出発で、中島美代子先生には大変お世話になりました。水墨画は奥が深く、技法も多種で、題材に向う度び挑戦です。未だ充分な絵は書けませんが、自作を見て、喜び樂しみが持てるようになりました。止めないで良かったと思います。これからマイペースでボチボチ書いていこうと思っています。  
緑水会は和やかで明るい雰囲気です。新会員さんの入会をお待ちしています。

#### ◆筑後市立図書館 ☎ 51-7200

- 7/20(土)・7/28(日) 13:00～  
夏休み特別企画「自由研究おたすけ隊」  
小学生対象・要事前申し込み・参加費無料  
元小学校の先生がテーマからまとめ方までアドバイスしてくれます。

#### ◆ひろかわ町立図書館 ☎ 32-1163

- 7/29(月)・7/30(火) 9:00～  
小学生読書リーダー養成講座
- 7/6(土)・7/21(日) 11:00～  
定例お話し会
- 7/17(水) 10:30～  
乳幼児向けおはなし会

#### ◆イベント案内 7月～8月前半◆

##### ■おりなす八女 ☎ 0943-22-5332

- 7月6日(日)  
① 10:00～ ② 14:00  
市原悦子さん追悼  
「しゃぼん玉」上映会
- 7月7日(日) 13:30～  
福島高校吹奏楽部定期演奏会
- 8月3日(土) 15:00～  
平和の祈りコンサート  
アン・サリーライブ 2019

##### ■サザンクス筑後 ☎ 0942-52-1200

- 7月12日(金)  
① 14:00～ ② 18:00～  
梅沢富美男劇団特別公演  
¥6,500
- 7月13日(土) 18:30～  
ぱふおーまんす集団センゲキ  
演劇公演  
¥1,000 高校生以下¥500
- 7月15日(月) 15:00～  
コミカルバラエティショー
- 7月27日(土) 14:00～  
九管ポップスファミリー  
コンサート ¥2,000
- 8月9日(金)  
① 13:30～ ② 19:00～  
演劇 新平和 ¥1,500

#### 森林セラピーと オリジナルクラフト作り 参加者募集

日時 7月28日(日) 9:30受付  
場所 グリーンピア八女  
小学生以下の子どもと保護者  
先着50名  
参加費 一人1000円  
(弁当代・温泉入浴券含む)  
別途工作材料代 1セット500円  
森の案内人と一緒に森の自然に触れ、  
午後は松ぼっくりやどんぐり・木片  
などでオリジナルの芸術品を作ります。  
夏休みの工作にいかがですか。  
7月12日(金)申し込み締切り  
八女市黒木支所 ☎ 42-1115へ

#### 夢発見！なるには講座

- 7/30(火) 18:30～  
地方公務員・保育士講座
- 7/31(水) 18:30～  
漫画家講座
- 8/1(木) 18:30～  
アナウンサー講座
- 7/26(金) 13:00～  
ブックスタート体験塾  
あなたの「なりたい」を応援  
します。あなたのギモンにス  
ペシャリストが応えます。  
参加費無料、各講座の開催1週  
間前までに図書館カウンター  
またはお電話でお申し込み下  
さい。
- 8/3(土) 19:15～  
なつのでっかいおはなし会  
乳幼児～小学生低学年

#### 7月の道の駅たちばな

夏野菜と夏の果物がいっぱいの季節！  
巨峰をはじめたくさんのぶどうの  
種類が入荷し始めます。  
御中元品もたくさん取り揃えてます。  
また、地元の園児さん達が願いを  
込めた七夕笹を店内に飾ります。  
ぜひ遊びに来て下さい！



道の駅 たちばな 立花町下辺春国道3号線沿  
TEL 0943-37-1711

## クラッシー文芸

### ■筑後俳句会

咲き満ちて夕影重き八重桜	白谷きよみ
改元に沸く日本や新茶時	平 昌恵
軒借りて老の商ふ浅蜷貝	辻 八重子
母の日の無き世を生きし母想ふ	永田 富子
天空に新樹満ちをり比叡山	植生 洋美
平成の御代なつかしむ竹の花	水本 辰次
川舟を繋ぐ舞台に浴衣の子	水本 艶子
一枝のジャスマン香る朝の卓	浅田つき子

### ■立花町立花俳句会

新元号祝ぎてや竹の花の笑む	吉泉 守峰
春愁やすぐに忘るるカタカナ語	中村テルヨ
麦秋や戦後スターのまたも逝く	西島志乃芙
あざみ花刺はあれども清々し	武田 行夫
母の日の母の笑顔や電話口	三宅清一郎
生り紐の長きふつりと苺狩	深町 和子
雛の顔また来年と箱籠り	平田 清香

### ■立花短歌会

夕食に今日も一杯いきますか活魚の「平目」  
お皿に盛りて 鶴 隆治郎  
わくわく感テレビにも新聞にもあふれおり令  
和の幕開け新茶の香り 井上 精  
活気づく令和の連休われはただ読みさしの本  
のページをめくる 櫻木 敦子  
若桶の活気あふれる樹の下のバラの香りに心  
安らぐ 樋口 愛子  
山里の変わらぬ暮らし願いつつ令和を祝う花  
を活けこむ 松尾ミサキ  
懸命に施設で過ごすお袋の白寿を祝う親戚集  
う 橋本 泰州  
友と行く呼子のイカの活き造り残酷なれど二  
切れ三切れ 中島 睦美  
中高生の活躍めだつスポーツに期待高まる東  
京五輪 田中たつじ  
老木のもみじを床に生き生きと活気をはなつ  
石斛の花 鶴 邦子  
意を決し大枝切りたる老梅の実はたわわなり  
五年を過ぎて 野中 裕政